

# 南区保健福祉センターにおける 高齢者の保健福祉に関する取り組み

# 目 次

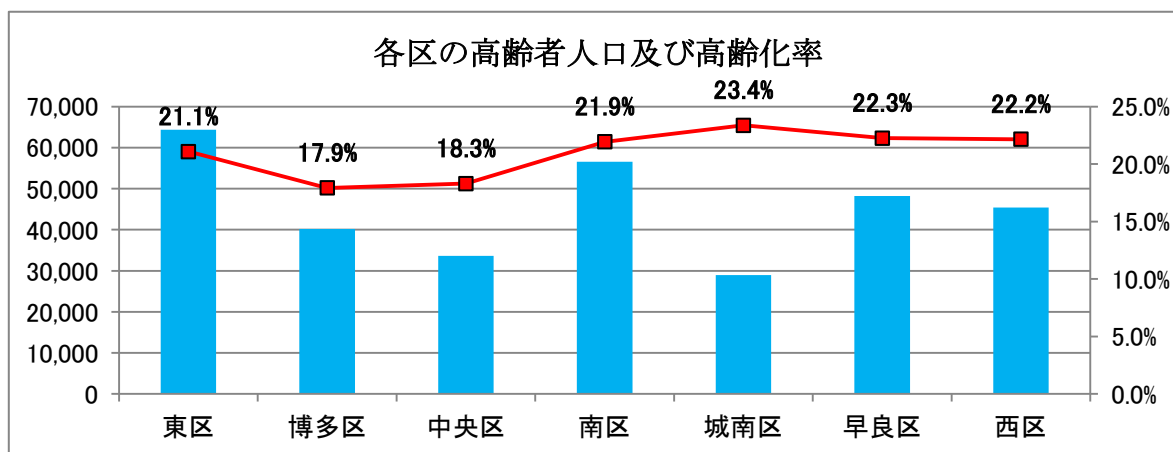
1	高齢者の概況.....	- 2 -
2	要介護（要支援）認定状況 ※第1号被保険者のみ.....	- 4 -
3	高齢者に関する総合相談支援.....	- 5 -
4	高齢者の権利擁護.....	- 7 -
5	認知症高齢者の支援体制.....	- 8 -
6	介護予防事業.....	- 10 -
7	地域の特性に応じた地域包括ケアの推進.....	- 12 -
8	南区高齢者福祉の実施状況.....	- 14 -

# 1 高齢者の概況

## (1) 福岡市の区別高齢者人口

平成 29 年 3 月末現在

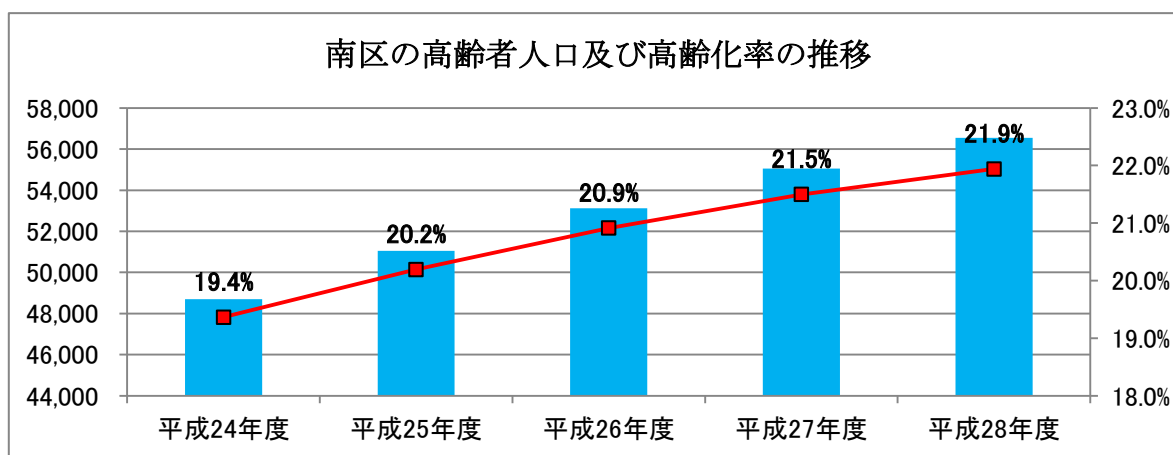
	市全体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総人口	1,516,224	305,126	224,093	183,685	257,747	123,910	216,709	204,954
高齢者人口	317,256	64,324	40,160	33,610	56,553	28,964	48,242	45,403
高齢化率	20.9%	21.1%	17.9%	18.3%	21.9%	23.4%	22.3%	22.2%



## (2) 南区の高齢者人口の推移

各年度末現在

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
南区人口	251,426	252,773	253,987	256,035	257,747
高齢者人口	48,691	51,046	53,117	55,045	56,553
高齢化率	19.4%	20.2%	20.9%	21.5%	21.9%
福岡市人口	1,459,411	1,474,999	1,487,970	1,502,647	1,516,224
高齢者人口	270,185	283,926	296,526	307,754	317,256
高齢化率	18.5%	19.2%	19.9%	20.5%	20.9%



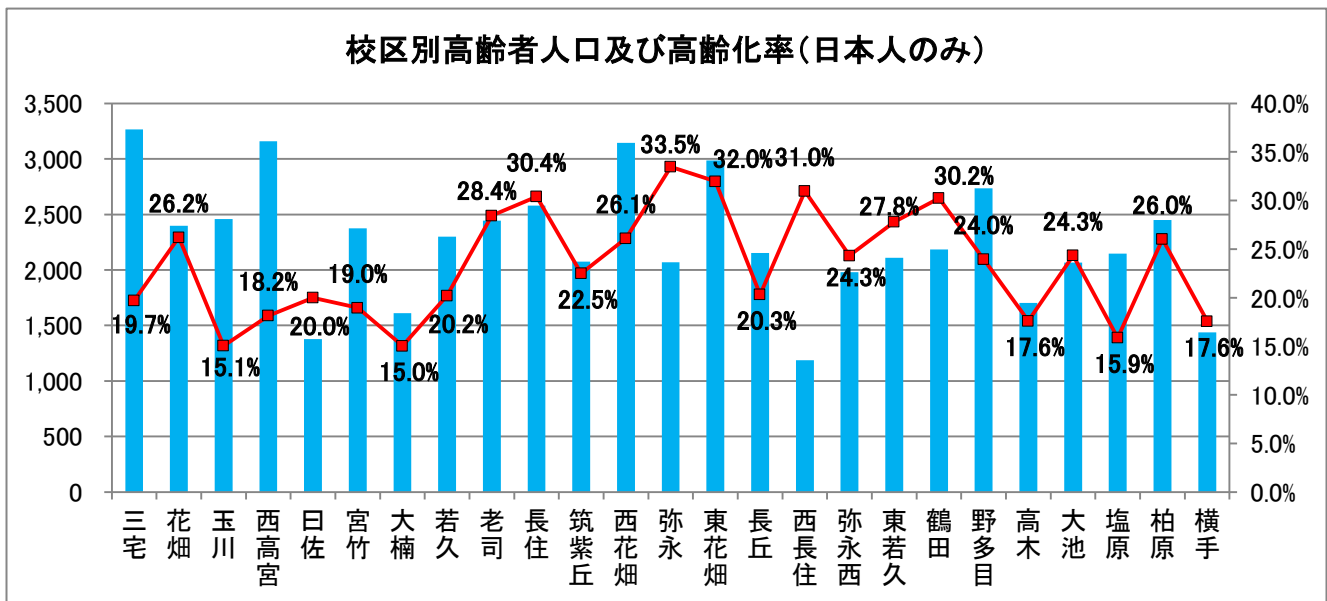
(3) 南区の校区別高齢者人口 (日本人のみ)

平成 29 年 3 月末現在

	三宅	花畑	玉川	西高宮	日佐	宮竹	大楠	若久	老司
総人口	16,565	9,146	16,322	17,406	6,894	12,529	10,709	11,378	8,592
高齢者人口	3,265	2,397	2,458	3,160	1,378	2,375	1,611	2,300	2,444
高齢化率	19.7%	26.2%	15.1%	18.2%	20.0%	19.0%	15.0%	20.2%	28.4%

	長住	筑紫丘	西花畑	弥永	東花畑	長丘	西長住	弥永西	東若久
総人口	8,483	9,217	12,040	6,183	9,343	10,595	3,830	8,136	7,584
高齢者人口	2,579	2,074	3,144	2,070	2,987	2,153	1,186	1,979	2,109
高齢化率	30.4%	22.5%	26.1%	33.5%	32.0%	20.3%	31.0%	24.3%	27.8%

	鶴田	野多目	高木	大池	塩原	柏原	横手
総人口	7,225	11,410	9,674	8,488	13,514	9,410	8,180
高齢者人口	2,185	2,734	1,704	2,066	2,146	2,449	1,437
高齢化率	30.2%	24.0%	17.6%	24.3%	15.9%	26.0%	17.6%

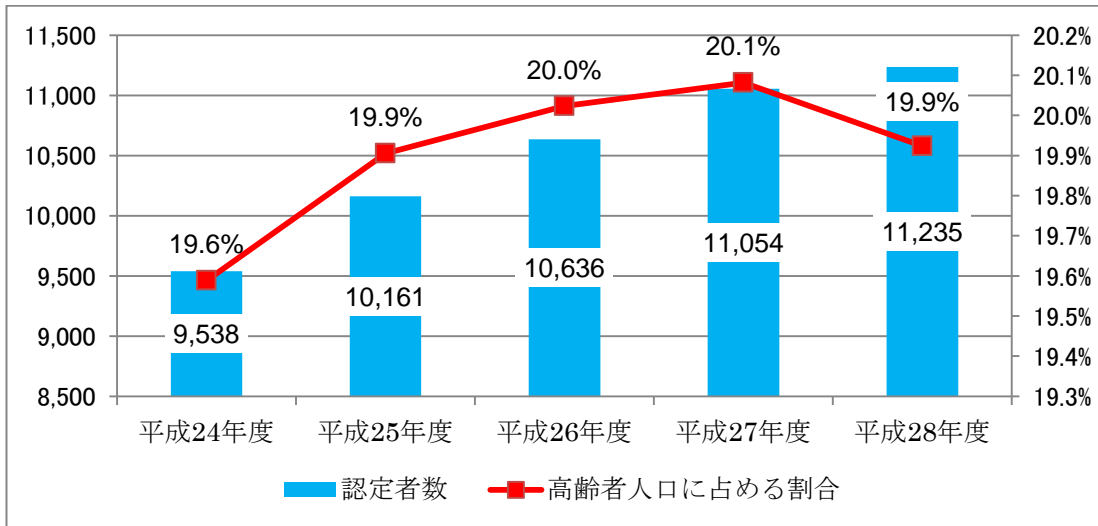


## 2 要介護（要支援）認定状況 ※第1号被保険者のみ

### (1) 南区の要介護（要支援）認定状況の推移

各年度末現在

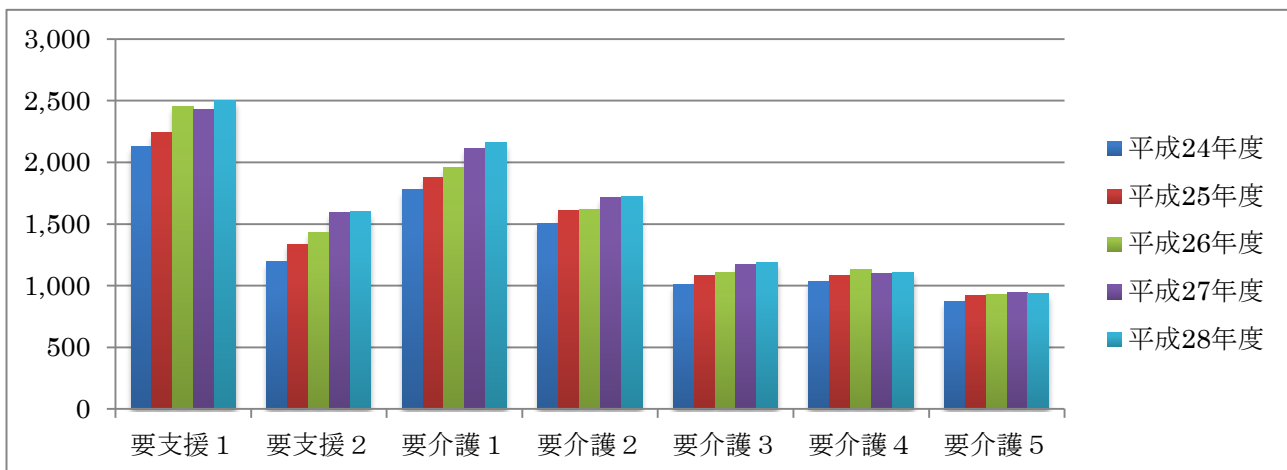
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
高齢者人口	48,691	51,046	53,117	55,045	56,390
認定者数	9,538	10,161	10,636	11,054	11,235
高齢者人口に占める割合	19.6%	19.9%	20.0%	20.1%	19.9%



### (2) 南区の要介護（要支援）別認定状況の推移

(各年度末現在)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
要支援1	2,133	2,246	2,451	2,426	2,504
要支援2	1,196	1,339	1,434	1,594	1,602
要介護1	1,779	1,879	1,956	2,115	2,164
要介護2	1,509	1,608	1,623	1,719	1,726
要介護3	1,010	1,080	1,112	1,169	1,192
要介護4	1,038	1,085	1,131	1,102	1,111
要介護5	873	924	929	945	936
計	9,538	10,161	10,636	11,070	11,235

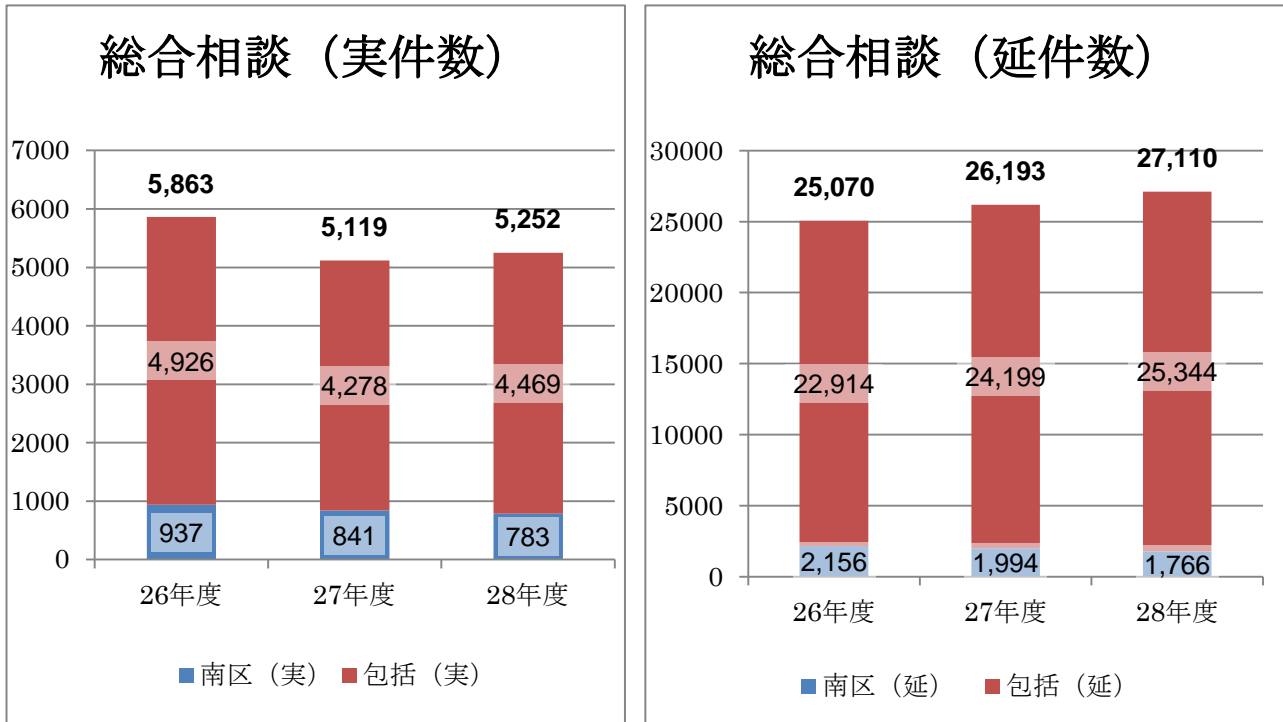


### 3 高齢者に関する総合相談支援

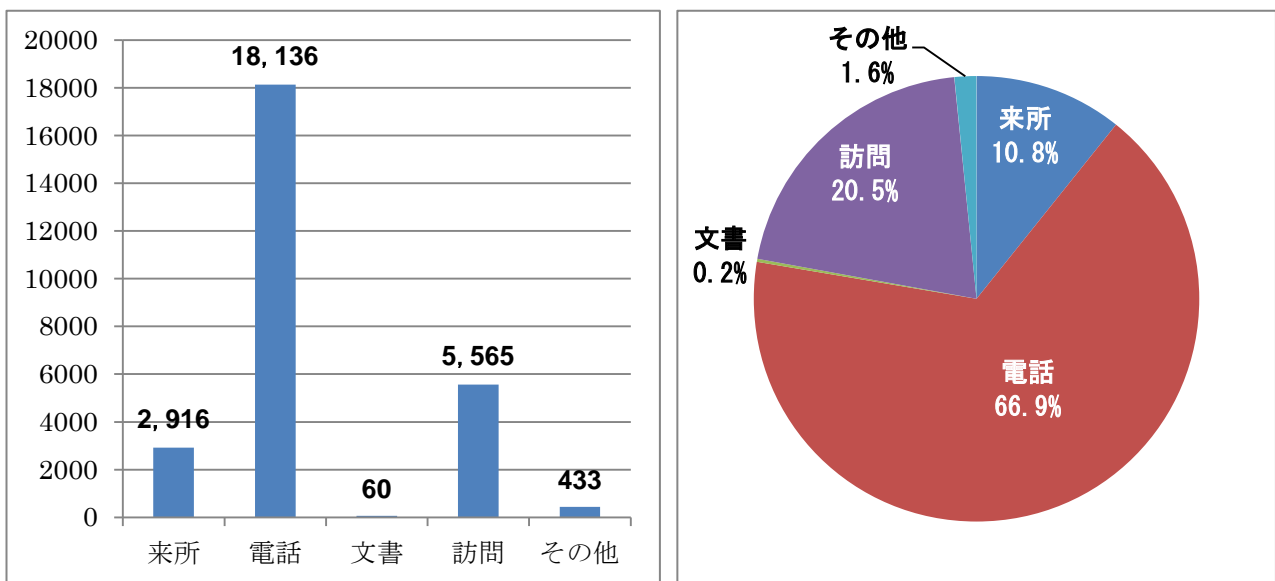
高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしく暮らし続けることができるように、健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に適したアドバイスを行うなど、高齢者が自立した生活が続けられるよう、区及び地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）において支援する。

なお、地域包括支援センターについては、平成 27 年度に 7 センターから 11 センターと増設し、より身近な地域で相談できる体制づくりを行った。（市内 39 センター→57 センター）

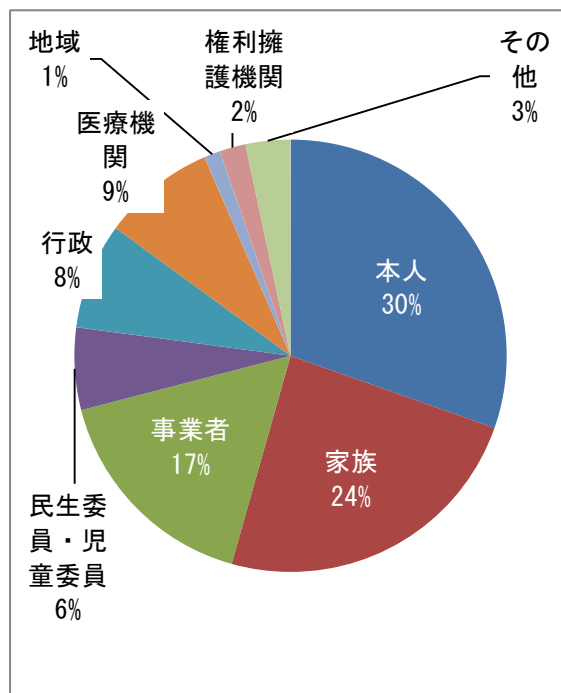
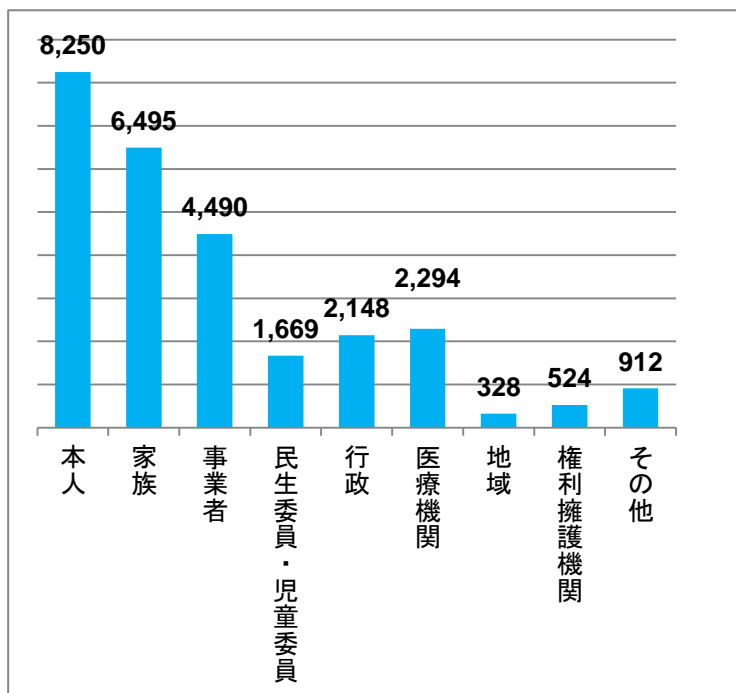
#### （1）相談件数の推移



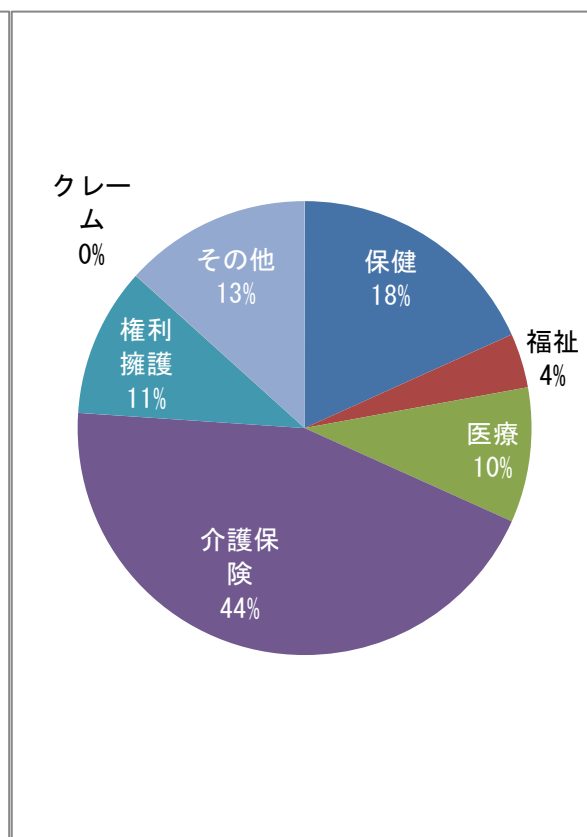
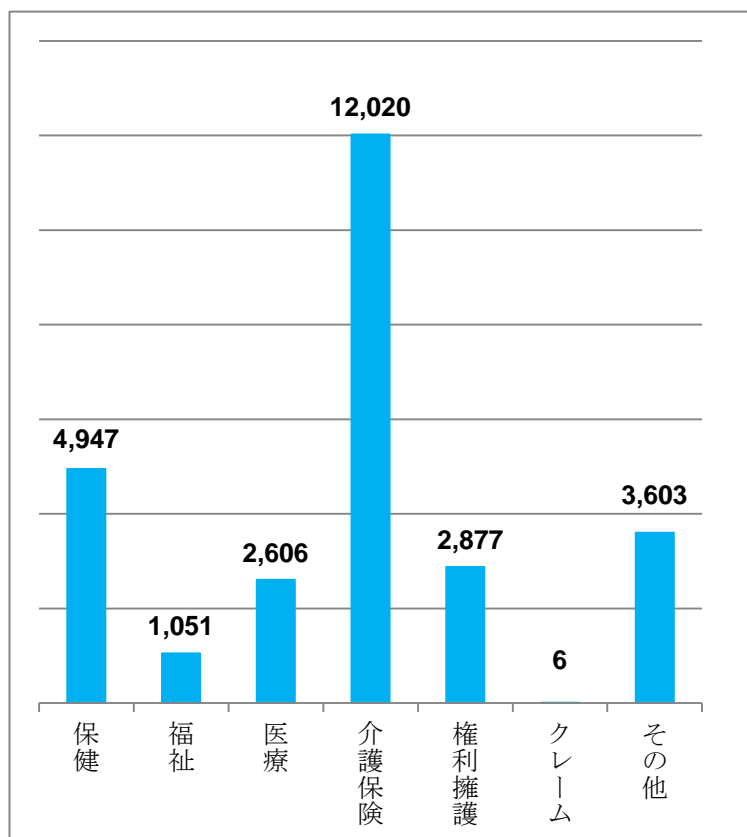
#### （2）相談方法（平成 28 年度延件数：27,110 件の内訳）



(3) 相談経路 (平成 28 年度延件数 : 27,110 件の内訳)



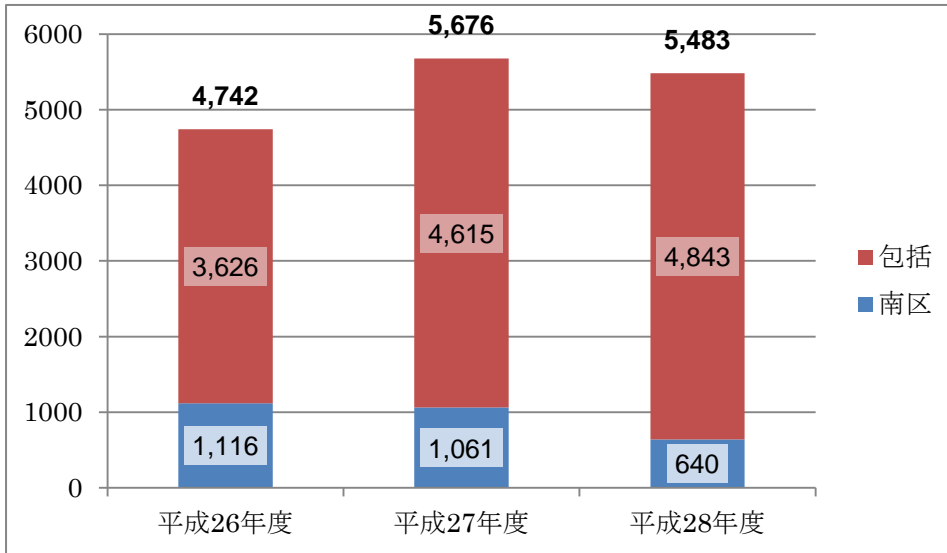
(4) 相談内容 (平成 28 年度延件数 : 27,110 件の内訳) ※第一主訴



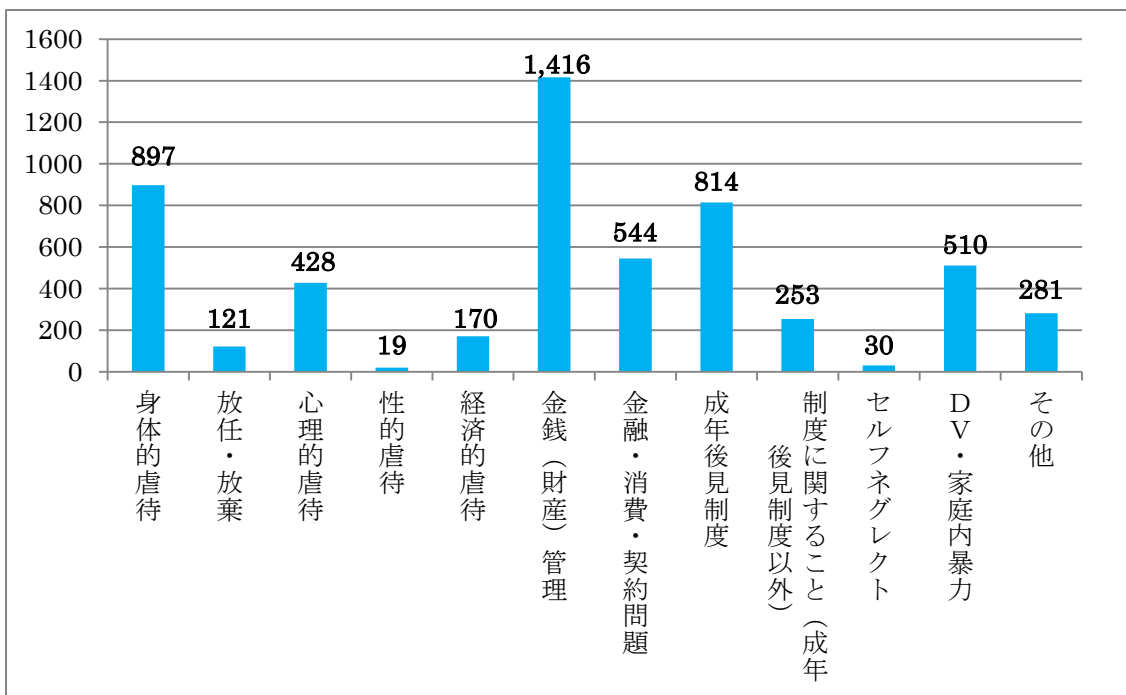
#### 4 高齢者の権利擁護

高齢者が、住み慣れた家庭や地域で安心して尊厳を保ちながら生活することができるよう、高齢者虐待・困難事例への対応、成年後見制度の活用促進など、高齢者の財産を守り、権利の行使を確保し、また、権利の侵害に対しては保護・支援を含めた権利擁護の総合的な取り組みを実施する。

##### (1) 相談件数の推移（複数選択可）



##### (2) 相談内容別件数（平成28年度5,483件の内訳）



##### (3) 成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない高齢者の支援をはかるため、特に必要があると認めるときは、老人福祉法第32条の規定に基づき、家庭裁判所に対し、市長による成年後見等の開始審判請求を行う。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市長による審判請求	6件	5件	2件
後見人報酬助成	0件	2件	1件



## 5 認知症高齢者の支援体制

### (1) 福岡市認知症高齢者見守りネットワーク事業

#### ①登録制度

あらかじめ高齢者の写真、体格や特徴、緊急連絡先などの情報を登録することにより、登録者を警察が保護した場合、早期に身元を確認し、いち早く家族に連絡できる。登録者の情報は、警察・区保健福祉センター・地域包括支援センターで保管する。

#### ②徘徊高齢者捜してメール（登録制度と同時利用）※平成25年12月開始

認知症高齢者の情報を事前に登録し、行方不明になった場合に、日常生活の中で可能な範囲で捜索に協力していただける「協力サポーター」に情報をメールで配信し、早期発見・保護をはかる。

#### ③検索システム（登録制度と同時利用）※平成27年度より機器変更

小型軽量の携帯端末（「子機」）が発する電波を親機が受信し、子機までの距離と方向の目安を表示する。認知症高齢者が「子機」を携帯し、家族が「親機」を活用することで高齢者の早期発見・保護につなげる。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
登録制度利用者数		177人	193人	218人
捜してメール	登録者数	88人	132人	172人
	協力サポーター登録者数※	4,836人	5,323人	5,682人
	協力事業者登録数※	832事業者	883事業所	911事業所
検索システム利用者数		20人	20人	13人

※捜してメールの「協力サポーター登録者数」「協力事業者登録数」は、福岡市及び福岡都市圏の一部を含む全域の数値

### (2) 一時保護事業

徘徊により警察に保護された認知症高齢者のうち、警察により老人福祉施設等における保護の要請があった場合、迅速かつ適切な保護を行うことで事故の防止をはかる。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
保護件数	市全体	7件	6件	2件
	うち南区	1件	1件	1件

### (3) 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

認知症高齢者を自宅で介護する家族が、外出する時間帯や介護疲れで休息が必要な時間帯に、認知症高齢者の介護経験等があるボランティア（やすらぎ支援員）が自宅を訪問し、認知症高齢者の見守り、話し相手、家族の相談に応じる。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用世帯数	市全体	22世帯	19世帯	21世帯
		372回	471回	596回
	うち南区	3世帯	3世帯	7世帯
		36回	67回	131回

#### (4) 認知症高齢者の支援体制づくり

認知症に対する正しい知識の普及啓発や地域での見守り機能及び関係機関との連携を強化することで、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを促進する。

##### ①認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識を持ち、地域等において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。受講者は、地域住民・民生委員・町内会・ふれあいネットワーク・小学生・家族介護者など、多岐にわたっている。

- ・対象：地域住民等でおおむね10人以上のグループ
- ・内容：「認知症とは?」「認知症の人と接する時の心構え」等の講演，グループワーク

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	累計
開催回数	24回	37回	23回	172回
受講者数	2,481人	1,278人	1,010人	7,906人

※累計については、平成21～28年度の実績を足したもの

##### ②キャラバン・メイト連絡会議

キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師）同士の連携を強化するとともに、認知症サポーター養成講座の質の向上を図るための連絡会議を開催する。

- ・南区内キャラバン・メイト数：116人（平成28年度末現在）
- ・平成28年度南区実績：1回25人

##### ③南区医師会認知症診療ネットワークとの連携

認知症高齢者や家族の在宅支援を強化するため、南区医師会が立ち上げた認知症診療ネットワークの研修会へ参加し、意見交換を行った。

※南区医師会認知症診療ネットワーク：認知症の診断，治療，ケアにおいて知識の交流・研鑽を行い，南区の認知症診療の質の向上を目指すことを目的とした会。

##### ④「高齢者地域支援事業」「お・も・い・や・りネットワーク事業」での体制づくり

※P14を参照

##### ⑤認知症ケアパス「福岡市認知症ハンドブック」等の普及（平成28年度から）

認知症ケアの普及・向上を図るため、認知症相談医，主任ケアマネジャー等へ福岡市が作成した福岡市認知症ハンドブック，早期診断に繋げるための啓発リーフレットを配布し活用依頼を行う。その後活用上の課題や活用状況を聞き取り，より広くケアパスが普及するよう取り組んでいく。

平成28年度実績：85か所へ巡回及び説明を実施

認知症ケアパス	認知症の人の生活機能低下の進行にあわせ，いつ，どこで，どのような医療・介護サービスを受けることができるのか，具体的な機関名やケア内容等を，あらかじめ，認知症の人とその家族に提示するもの
---------	--

## (5) 認知症の普及啓発

### ①自分の認知機能を知る講座【南区主要事業】

「ファイブ・コグ（高齢者用集団認知検査）」を用いて、認知症とは診断されないが、記憶障害と軽度の認知障害が認められ、正常とも言い切れない中間的な段階である「軽度認知障害（MCI）」の早期発見と啓発を促すとともに、自分の認知機能のレベルを知ることにより、認知症予防の動機づけにつなげ、認知症発症の危険因子を減らす生活習慣を身に付けることを目指す。

28年度は年3開設開催し、内2開設は、認知症予防教室と合体して実施し、より継続的な認知症予防の取り組みにつながるように行っていく。対象の年齢は65歳以上。

高齢者用集団認知検査 （ファイブ・コグ検査）	記憶・学習、注意、言語、視空間認知、思考の5つの認知領域と手先の運動機能を測定するもの。 軽度認知障害の時期に低下する認知機能「エピソード記憶」「注意分割機能」「計画力（思考力）」の中で、どこが低下しているかを測定することが出来る。
---------------------------	---

平成28年度実績 3開設開催

内容	参加者数(実人数)
(3回コース×1開設)1回目:講演・認知検査 2回目:結果説明 3回目:有酸素運動実践	76人(29人)
(5回コース×2開設・認知症予防教室と合体)1回目:講演・認知検査 2回目:結果説明 3~5回目:講義(運動, 栄養, 口腔), 有酸素運動の実践	190人(43人)

## 6 介護予防事業

### (1) 介護予防教室「65歳からの健康づくり教室（委託事業）」

自宅でできる運動を中心としてロコモ予防や口腔体操、認知症予防の講話などをあわせた内容でいきいきセンターふくおか圏域（11圏域）毎に5回コース3開設実施した。教室終了後も自分たちで継続して介護予防に取り組むことができるよう、いきいきセンターふくおかと連携し、自主グループ化に向けた支援を行った。（対象：介護保険サービス利用者を除く全高齢者）

平成28年度実績：33開設 実388人，延1,677人参加，自主グループ5箇所設立

### (2) 認知症予防教室「65歳からの認知症予防教室」

認知症予防に効果があるとされる有酸素運動・脳賦活化運動を取り入れた運動中心の教室を、5回コース4開設実施。教室終了後も自主的に継続して認知症予防に取り組めるよう、自主グループの育成や既存グループへつなぐなどの支援を行う。（対象：介護保険サービス利用者を除く全高齢者）

平成28年度実績：5回コース4開設（20回）（実86人 延407人）

### (3) 生き生き講座

地域の高齢者グループへ出向き、運動・栄養バランス・口腔ケア・ロコモ予防・認知症予防・生活習慣病予防・うつ病予防など、健康づくりや介護予防に関する講座を実施する。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
開催回数	152 回	198 回	231 回
参加者数	3,514 人	4,350 人	4,780 人

### (4) 南区のんびり継続教室

「65歳からの健康づくり教室」及び「65歳からの認知症予防教室」を終了し、運動継続が自信ない方を対象に、自宅でも運動を続けることができるよう、脳トレや簡単な運動をゆっくりとしたペースで実施する教室を開催する。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
実施回数	12 回	8 回	8 回
参加者数	247 人	62 人	86 人

※平成 26 年度までは、転倒予防教室やシニア健康教室の修了者を対象に実施

### (5) 訪問型介護予防事業

心身の状況により、通所型の介護予防教室等への参加が困難な方を対象に、訪問し生活機能の維持・向上をはかる。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
被訪問者数	8 人	0 人	0 人

### (6) その他の介護予防事業

#### ①介護予防活動支援補助金（年度 1 回募集）

- ・補助金額：初年度 3 万円，以後 1 万円（3 年限度）
- ・補助対象：住民主体で結成された介護予防に取り組む団体
- ・補助事業：運動を通じた健康づくり・介護予防に関する活動，正しい栄養の摂取や食生活改善に関する活動，口腔機能の向上に関する活動，認知症予防に関する活動等

平成 28 年度実績：7 団体

#### ②自主グループへの講師派遣

介護予防教室「65歳からの健康づくり教室」終了後の自主グループ活動に講師を派遣する。

平成 28 年度実績：13 回

## 7 地域の特性に応じた地域包括ケアの推進

超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者が住み慣れた地域において安心して生活していけるよう「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みとして、医療と介護の連携強化、高齢者地域支援事業及び南区独自の「お・も・い・や・りネットワーク事業」を実施した。

またそれぞれの取り組みを行っていくうえで課題の抽出やネットワーク構築、地域づくりなどを目指し、区やいきいきセンターふくおか主催で、地域ケア会議を区レベル、概ね中学校区レベル、小学校区レベル、個別レベルで開催した。

### (1) 在宅医療介護連携の推進

在宅医療と介護に関する課題を共有し、解決策を検討するとともに、多職種間でお互いの役割理解や課題検討のため情報交換会や研修会等を行った。

#### ①在宅医療・介護部会（全3回） 区レベルの地域ケア会議の専門部会

地域ケア会議を通して抽出された課題の解決に向けた検討や医療と介護の連携推進に向けて必要な取り組みに関する協議、各団体間のネットワークづくりを行った。

#### ②在宅医療・介護連携のための多職種連携研修会・市民啓発事業（福岡市医師会への委託事業）

市医師会及び区内各団体と連携し、多職種連携研修会（4回）及び市民啓発事業（1回）を実施。

#### ③区認知症診療ネットワークとの連携事業（南区医師会主催事業）

区医師会が立ち上げた認知症診療ネットワークの研修会へ参加し、意見交換を行った。

#### ④在宅医療介護推進に向けての普及啓発

- ・福岡市退院時連携の基本的な進め方の手引き、医療機関連携窓口一覧、社会資源情報ブックの周知・啓発
- ・福岡市認知症ハンドブックやリーフレット（平成28年度作成）を活用し、認知症の適切なケアの理解への普及・啓発

#### ⑤区における同一業種の連絡会との連携による取り組み

##### ・訪問看護ステーション

南区訪問看護ステーション連絡協議会（平成27年度設立）の研修会への参加、継続支援を行った。

##### ・ソーシャルワーカー

ソーシャルワーカー情報連絡会にいきいきセンターとともに参加し、情報及び意見交換等を行った（4回）。平成28年8月には、南区全17病院が参加する南区ソーシャルワーカー連絡協議会が設立。研修会への参加、運営支援を行った。

##### ・介護支援専門員

介護支援専門員連絡協議会「ささえあいの会」の世話人会への参加や研修会開催の支援を行った。

##### ・小規模多機能ネットワーク

情報交換を行い、介護支援専門員との連携の調整を行った。

## (2) 高齢者地域支援事業

### ①南区全25校区で「高齢者地域支援会議」を開催

「高齢になっても住み慣れた校区で安心して暮らせる健康づくりを目指して」をテーマに、個人でできることや校区・団体で取り組めること等について検討を行った。

### ②花畑校区「介護予防自主グループ」立ち上げへの取り組み

校区が主催する「シニアのためのわくわくスタジオ」への技術提供などを圏域内の医療・介護事業所と協力して支援した。校区の自主的な取り組みを継続するために高齢者地域支援会議を開催し、校区役員と専門職とで協議した。

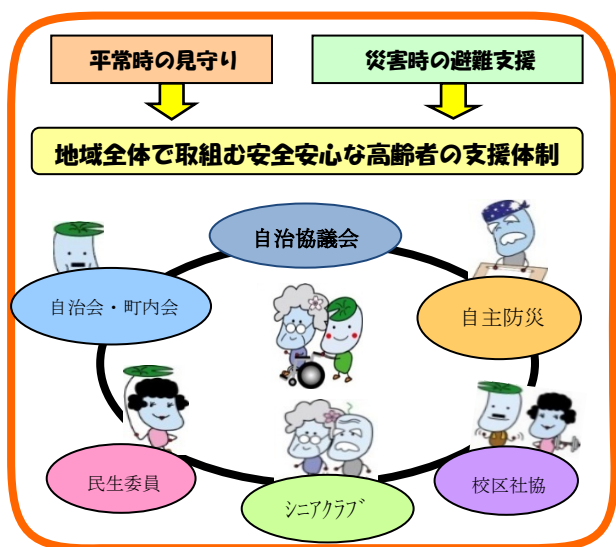


### (3) お・も・い・や・りネットワーク事業【南区主要事業】

「南区地域福祉ネットワークづくりモデル事業」で取り組んだ「災害時と平常時の高齢者の支援体制づくり」をもとに、校区における「災害時の避難支援」「日頃の見守り」「認知症の方への対応」などの体制づくりを区役所関係課と社会福祉協議会等関係機関が共働で支援。

弥永校区の「認知症の方とその家族が安心して暮らせるまちづくり」を目指した取り組みの支援等を行った。

校区	ワークショップ・研修会等		校区での会議・打ち合わせ	関係課会議
弥永	4回	297名	15回	1回
筑紫丘	0回	0名	1回	



#### 南区地域福祉ネットワークづくりモデル事業 (平成23年度～平成25年度)

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるような仕組みづくりを進めるために、高齢化率の高い2つの校区において、保健福祉局の「地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業」と連携・協力し、ワークショップや研修会の開催、マニュアルの作成、各種団体等との調整などを地域と区役所及び社会福祉協議会が共働で行いながら、地域が自主的に実施する「見守り」など高齢者支援の取り組みをサポートした。

その結果、モデル校区において全町で「災害時と平常時の高齢者地域支援体制」が新たに構築された。

## 8 南区高齢者福祉の実施状況

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
敬老金・敬老祝品の支給	2,753 件	2,960 件	2,934 件
高齢者乗車券の交付（※）	18,953 件	20,199 件	21,489 件
緊急通報システム	977 件	972 件	948 件
声の訪問	61 件	81 件	75 件
配食サービス	48 件	38 件	27 件
日常生活用具給付	23 件	24 件	14 件
養護老人ホーム入所	61 件	65 件	68 件
安心ショートステイ	449 件	475 件	319 件
住宅改造助成	17 件	21 件	30 件
おむつサービス	620 件	688 件	728 件
寝具洗濯乾燥サービス	8 件	6 件	10 件
移送サービス	14 件	20 件	19 件

※高齢者乗車券について、当該年度の交付期間が9月1日からはじまり、翌年度の9月30日までとなる。

（例：平成25年度分の交付期間は、平成25年9月1日～平成26年9月30日まで）

そのため、平成28年度の件数は、平成29年6月末現在までで集計した数値となっている。